

物価高・コロナから命とくらしを守る県政に

日本共産党県議団

引き継ぎ
ます

2つの大仕事

① 県政に願い届け前進

- 福祉灯油は2013年から毎年要望し実施され今年は1万円に増額。
- コロナ禍で学生に県産米を支援。
- 国の支援対象外の児童関係施設職員1万3千人に県が5万円の慰労金支給。(保育所・幼稚園・学童保育・児童養護施設など)
- ひとり親世帯に3万円の応援金支給。
- 保健師を昨年度に続き7名増員に。
- 県立高校など生理用品無償提供の継続。

② 議会・県政をチェック

- 元県議会議長が長年の税金である政務活動費を不正に受けとっていた問題で、党県議団は全国初となる刑事告発。元議長は執行猶予付きの有罪判決が確定。
- 議員1人80万円の海外視察、全員一律に行く意義はないと参加せず廃止を求めてきた。

子育て
世代

自民党は統一協会との癒着を断て

- 共産党県委員会は、自民党県連幹事長、県議らの統一協会との関与を告発し関係を断つことを求めました。(9月2日記者会見)
- 党県議団は、9月6日・県に統一協会が県の外郭団体の賛助会員になっていたことを指摘し、今後いかなる関与もしないことを求めました。

大問題 大争点

石川 渉の提案

- ◎学校給食費の無償化を
- ◎医療費を18才まで無料に
- ◎保育士を大幅に増やします
- ◎介護保険の利用料・保険料の軽減
- ◎高すぎる国保税の引き下げ
- ◎保健所・医療・介護・保育などへ支援を
- ◎中小企業を支援し、手取り月20万円の最低賃金に
- ◎地域の担い手、中小企業、農業支援の強化、インボイス中止
- ◎私学助成の拡充
- ◎学校の先生を増やします
- ◎大学・専修学校の返済不要の奨学金の拡充
- ◎コロナ感染者、濃厚接触者のケア強化継続
- ◎原発ゼロ、再生可能エネルギーの活用支援
- ◎ジェンダー平等の日本へ
・夫婦別姓の実施・男女賃金格差の是正などを



消費税 5%減税! 憲法 9 条守れ!